

インドネシア水道に係る情報収集 No. 210104-2J

検索サイト	Google	実施日	2021/01/04	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア、水道、コロナウイルス」で検索					
URL： https://www.indonesiasoken.com/news/column-employmentstatus/					
標題：【コラム】新型コロナウイルスのインドネシア企業への打撃と雇用状況 インドネシア総合研究所 ニュース 2020年9月18日					
インドネシアでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各自治体で「大規模な社会的規制（PSBB）」を発動し、人々や企業の活動を制限した。PSBBには“職場の休止”も含まれ、PSBB導入地域の多く企業はテレワークを導入した（但し、国軍、食料品、石油燃料関係、医療サービス、金融関係、通信、製造業、輸出入、輸送及びその他の社会的サービスは除外）。これにより、人々個人はもちろん、企業も新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。					
インドネシア中央統計局（BPS）が今年7月に実施した調査によると、インドネシア国内の80%以上の企業が、コロナ感染拡大によって売上が減少したと回答している。					
コロナにより業績が悪化したと回答した企業の業界別割合					
最も影響が大きい		最も影響が少ない			
宿泊、飲食	92.47%	水道・廃棄物処理	68.00%		
その他サービス	90.90%	電力・ガス	67.85%		
交通、倉庫	90.34%	不動産	59.15%		
インドネシアの業界別にみたコロナ禍でも通常営業を続ける企業の割合					
業界	割合	業界	割合		
水道・廃棄物処理	77.86%	サービス	49.45%		
農業・畜産業	76.63%	交通・倉庫	58.75%		
不動産業	76.54%	情報通信	58.29%		
電機・ガス	73.56%	宿泊、飲食	51.91%		
貿易、自動車修理	69.06%	その他サービス	50.50%		
鉱業・掘削	66.91%	加工業	49.42%		
金融	66.33%	建設	47.81%		
医療・保険	64.53%	教育	27.29%		
インドネシアでコロナ禍でも通常営業を行っていた業界は水道・廃棄物処理関係であった。					
従業員の一時解雇を行った業界					
最も多い		最も少ない			
加工業	18.69%	水道・廃棄物処理	6.51%		
建設	18.59%	金融	5.69%		
宿泊、飲食	17.63%	電力・ガス	4.96%		
コロナ禍で勤務人数を減らした業界とその割合					
最も多い		最も少ない			
加工業	52.23%	水道・廃棄物処理	18.79%		
建設	51.37%	金融	18.26%		
宿泊、飲食	50.52%	電力・ガス	15.30%		
備考 インドネシアのコロナウイルスの最新状況は次のサイトをご覧ください（令和2年12月2日）： https://www.id.emb-japan.go.jp/JJC_Webinar_shiryo2.pdf					